入札説明書　添付 10

国道４９号富田地区電線共同溝ＰＦＩ事業

見積参考資料

令和７年１０月

国土交通省東北地方整備局

見　積　参　考　資　料

国道49号　富田地区電線共同溝PFI事業　詳細設計業務

この「見積参考資料」は、入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書に定める設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、業務の目的や条件を充分に考慮し、業務を完了するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期限は、この事業の入札日までとする。

国土交通省　東北地方整備局
郡山国道事務所　管理課

１，設計業務

１．電線共同溝修正設計　Ｎ＝１式（１箇所）

本業務は過年度実施の詳細設計を基に、事前調査や比較検討等の結果を踏まえ、必要となった修正設計を行うものである。なお、修正設計の作業量は以下の歩掛にて対応出来るものとして、当初は計上しております。

項目	１箇所当たりの編成（単位：人）							摘要
	主任技術者	理事、技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
設計計画		1.05	1.05	1.05	1.05	0.525		電子計算機使用料（直接人件費の 2%）
現地踏査			0.525	1.575	1.05	0.525		電子計算機使用料（直接人件費の 2%）
設計条件の整理・検討			1.575	1.05	1.575	0.525	1.05	電子計算機使用料（直接人件費の 2%）
平面・縦断線形設計			1.05	2.1	3.15	3.15	3.675	電子計算機使用料（直接人件費の 2%）
数量計算				1.575	3.15	3.675	5.25	電子計算機使用料（直接人件費の 2%）
管路部設計				1.575	2.625	2.625	3.675	電子計算機使用料（直接人件費の 2%）
特殊部設計				2.625	2.625	2.625	4.725	電子計算機使用料（直接人件費の 2%）

項目	１箇所当たりの編成（単位：人）							摘要
	主任技術者	理事、技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
地上機器部設計				2.1	2.1	2.1	1.575	電子計算機使用料（直接人件費の 2%）
施工計画			1.05	1.05	1.575	0.525		電子計算機使用料（直接人件費の 2%）
関係機関との協議用資料作成			1.05	1.05	2.625	1.575	1.575	電子計算機使用料（直接人件費の 2%）
照査			1.05	1.575	3.15	3.15		電子計算機使用料（直接人件費の 2%）
報告書作成			1.05	2.1	2.625	0.525	2.1	電子計算機使用料（直接人件費の 2%）

２．打合せ及び関係機関打合せ協議

設計業務等標準積算基準書（令和７年度版）の第３編第２章第１節１－１「打合せ等」により、下表のとおり計上しております。

●打合せ

実施時期	回数	１回（対面）当たりの編成（単位：人）		
		主任技師	技師（A）	技師（B）
事業着手時	1	0.5	0.5	0.5
中間打合せ	5	0.5	0.5	0.5
成果品納入時	1	0.5	0.5	0.5

●関係機関打合せ協議

	機関・回数	１機関１回（対面）当たりの編成	
		主任技師	技師（A）
関係機関打合せ協議	8	0.5	0.5

３．公開成果品作成

設計業務等標準積算基準書（令和７年度版）の第３編第２章第１節１－３「公開成果品作成」により、下表のとおり計上しております。

●公開成果品作成

	１業務当たりの編成	
	技師（C）	技術員
公開成果品作成	1.3	2.3

４．電子成果品作成費

設計業務等標準積算基準書（令和７年度版）の第３編第１章第３節３－１「電子成果品作成費」における「（１）概略設計、予備設計又は詳細設計」にて計上しております。

５．旅費交通費

本業務は、宿泊・滞在を伴わない旅費交通費として計上しています。

本業務において打合せ、関係機関協議、現地作業（現地踏査等含む）にかかる旅費交通費は、直接人件費の 0.63%として計上しています。

なお、契約変更によって直接人件費の増減があった場合の旅費交通費においては変更後の直接人件費に対し率を乗じた額により計上します。ただし、旅費交通費の上限は 24.4 万円とし、変更によって宿泊が生じた場合は本項の率 0.63%は適用しないものとします。

見　積　参　考　資　料

国道49号　富田地区電線共同溝PFI事業　整備工事業務

この「見積参考資料」は、対象工事の現場条件等を考慮し標準的な施工内容等を参考に示した資料であり、契約書に定める設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、施工方法、地質条件等を十分に考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期限は、この事業の入札日までとする。

国土交通省　東北地方整備局
郡山国道事務所　管理課

見積参考資料（積算条件）

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務　（　当　初　）	主たる工種	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

間接費名称	積算条件	
	補正項目	条件
共通仮設費（率計上）	施工地域補正 除雪工事補正	市街地（ＤＩＤ補正）（１）－１ 補正無
現場環境改善費（率計上）	市街地補正	市街地
現場管理費	施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正	市街地（ＤＩＤ補正）（１）－１ 補正しない 補正しない 補正しない 補正しない
一般管理費等	財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正	補正しない ３５％を超えるもの・補正しない 発注者が金銭的保証を必要とする場合
その他	ＩＣＴ施工補正 週休２日の補正 被災地補正	補正しない 週休２日（閉所）完全週休２日（土日） 補正する

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
電線共同溝		式		1				
仮設工		式		1				
土留･仮締切工 【夜間】		式		1				
軽量鋼矢板(電線共同溝)	管路部 Ⅱ型 L=2.0m	式		1		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料等 LSP-Ⅱ型 L=2.0m（管路部） (44日)	m 式	292.8 1
軽量鋼矢板(電線共同溝)	管路部 Ⅱ型 L=2.5m	式		1		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料等 LSP-Ⅱ型 L=2.5m（管路部） (36日)	m 式	208.7 1
軽量鋼矢板(電線共同溝)	特殊部 Ⅱ型 L=2.0m	式		1		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料等 LSP-Ⅱ型 L=2.0m（特殊部） (11日)	m 式	64 1
軽量鋼矢板(電線共同溝)	特殊部 Ⅱ型 L=2.5m	式		1		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料等 LSP-Ⅱ型 L=2.5m（特殊部） (77日)	m 式	391.2 1
軽量鋼矢板(電線共同溝)	特殊部 Ⅱ型 L=3.0m	式		1		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料等 LSP-Ⅱ型 L=3.0m（特殊部） (6日)	m 式	25.3 1
軽量鋼矢板(電線共同溝)	特殊部 Ⅱ型 L=3.5m	式		1		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料等 LSP-Ⅱ型 L=3.5m（特殊部） (13日)	m 式	52.7 1
交通管理工 【夜間】		式		1				

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
交通誘導警備員	夜間A	人日		350		＜　1　人日当り＞ 交通誘導警備員Ａ	人日	1
交通誘導警備員	夜間B	人日		700		＜　1　人日当り＞ 交通誘導警備員Ｂ	人日	1
舗装版撤去工		式		1				
舗装版破砕工 【夜間】		式		1				
殻運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻(歩道部)	m3		176		＜　1　m3当り＞ 運搬（電線共同溝工） 積載区分=ｱｽﾌｧﾙﾄ塊；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=10.5km以下；	ｍ３	1
殻運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻(車道部)	m3		128		＜　1　m3当り＞ 殻運搬 殻発生作業=舗装版破砕；積込工法区分=機械積込(騒音対策不要､厚15cm超)又(騒音対策必要)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=9.0km以下；費用の内訳=全ての費用；	ｍ３	1
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻(歩道部)	m3		176		＜　1　m3当り＞ 処分費（ｔ）	ｔ	2.15
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻(車道部)	m3		128		＜　1　m3当り＞ 処分費（ｔ）	ｔ	2.35
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m		6,570		＜　1　m当り＞ 舗装版切断 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版；ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚=15cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cmを超え30cm以下	m		1,490		＜　1　m当り＞ 舗装版切断 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版；ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚=15cmを超え30cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装厚 15cm以下	m2		2,790		＜　1　m2当り＞ 舗装版破砕積込（電線共同溝工）	ｍ２	1
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装厚 15cmを超え40cm以下	m2		640		＜　1　m2当り＞ 舗装版破砕 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版；障害等の有無=無し；騒音振動対策=不要；舗装版厚=15cmを超え40cm以下；積込作業の有無=有り；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
開削土工		式		1				
掘削工 【夜間】		式		1				
開削掘削	土砂	m3		3,700		＜　1　m3当り＞ 床掘り（電線共同溝工）	ｍ３	1
土砂等運搬	土砂	m3		3,710		＜　1　m3当り＞ 運搬（電線共同溝工） 積載区分=土砂；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=2.0km以下；	ｍ３	1
埋戻し工 【夜間】		式		1				
埋戻し・締固め	発生土 土砂	m3		1,600		＜　1　m3当り＞ 埋戻し・締固め（電線共同溝工） 土質=土砂；	ｍ３	1

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
埋戻し・締固め	良質土 中埋砂	m3		1,100		＜　1　m3当り＞ 埋戻し・締固め（電線共同溝工） 土質=中埋砂;	ｍ３	1
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂	m3		1,800		＜　1　m3当り＞ 積込（ルーズ） 土質=土砂; 作業内容=土量50,000m3未満;	ｍ３	1
土砂等運搬	土砂	m3		1,750		＜　1　m3当り＞ 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準; 積込機種･規格=ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3(平積0.6m3); 土質=土砂(岩塊･玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=2.0km以下;	ｍ３	1
残土処理工		式		1				
整地	残土受入れ地での処理	m3		2,000		＜　1　m3当り＞ 整地 作業区分=残土受入れ地での処理;	ｍ３	1
土砂等運搬	土砂	m3		1,960		＜　1　m3当り＞ 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準; 積込機種･規格=ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3(平積0.6m3); 土質=土砂(岩塊･玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=8.5km以下;	ｍ３	1
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂	m3		2,000		＜　1　m3当り＞ 積込（ルーズ） 土質=土砂; 作業内容=土量50,000m3未満;	ｍ３	1
仮舗装工		式		1				

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 ［車道･路肩部］ 【夜間】		式		1				
下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 200mm	m2		640		＜　1　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=200 mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	m2		640		＜　1　m2当り＞ 上層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=150 mm; 施工区分=1層施工; 材料=粒度調整砕石 M-40; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
上層路盤(車道・路肩部)	再生瀝青安定処理 仕上り厚 100mm	m2		640		＜　1　m2当り＞ 上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種); 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mmを超え100mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm超100mm以下)(実=100 mm; 瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 50ｍｍ	m2		640		＜　1　m2当り＞ 基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=無し; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
仮表層(車道･路肩部)	再生密粒度As(20T) 舗装厚 50ｍｍ	m2		640		＜　1　m2当り＞ 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=無し; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	C・C・BOX工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 ［歩道部］ 【夜間】		式		1				
下層路盤(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 110mm	m2		1,990		＜　1　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=110 mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m２	1
仮表層(歩道部)	再生密粒度As(13T)　舗装厚30mm	m2		1,990		＜　1　m2当り＞ 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=30 mm; 材料=各種(2.10以上2.20t/m3未満); 瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m２	1
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 ［第1種乗入部］ 【夜間】		式		1				
下層路盤(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 420mm	m2		65		＜　1　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=420 mm; 施工区分=3層施工; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m２	1
仮表層(歩道部)	再生密粒度As(13T)　舗装厚30mm	m2		65		＜　1　m2当り＞ 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=30 mm; 材料=各種(2.10以上2.20t/m3未満); 瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m２	1
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 ［第2種乗入部］ 【夜間】		式		1				

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
下層路盤(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 320mm	m2		150		＜　1　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=320 mm; 施工区分=2層施工; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
仮表層(歩道部)	再生密粒度As(13T) 舗装厚30ｍｍ	m2		150		＜　1　m2当り＞ 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=30 mm; 材料=各種(2.10以上2.20t/m3未満); 瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 ［第3種乗入部］ 【夜間】		式		1				
下層路盤(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 270mm	m2		500		＜　1　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=270 mm; 施工区分=2層施工; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
仮表層(歩道部)	再生密粒度As(13T) 舗装厚30ｍｍ	m2		500		＜　1　m2当り＞ 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=30 mm; 材料=各種(2.10以上2.20t/m3未満); 瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
仮区画線工 【夜間】		式		1				

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
仮区画線	ﾍﾟｲﾝﾄ式 水性型 実線 15cm 常温 白色	m		440		＜　　1　　m当り＞ 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=ペイント式水性型； 豪雪補正の有無=無し； 規格･仕様区分=実線15cm； 時間的制約の有無=無し； 未供用区間の場合の補正=無し； ペイント式塗料規格=常温； 塗料区分=白； 費用の内訳=全ての費用；	m	1
電線共同溝工		式		1				
管路工(管路部) 【夜間】		式		1				
埋設管路	角型FEP 径 130m m	m		10,102		管路材設置 作業区分=埋設部； 設置区分=多条管設置； ﾛﾝｸﾞﾍﾞﾙﾏｳｽ（材料費） φ130用	m 個	10,102 436
埋設管路	角型FEP 径 100m m	m		3,729		管路材設置 作業区分=埋設部； 設置区分=多条管設置； ﾛﾝｸﾞﾍﾞﾙﾏｳｽ（材料費） φ100用	m 個	3,729 288
埋設管路	ECVP管 径 125m m	m		1,633		管路材設置（直管） 作業区分=埋設部； 設置区分=単管設置； 管路材設置（曲管） 作業区分=埋設部； 設置区分=単管設置； ﾀﾞｸﾄｽﾘｰﾌﾞ（材料費） ECVP管 φ125用 管路受台（スペーサ）（材料費）	m m 個 個	1,265 368 45 1,203
埋設管路	ECVP管 径 100m m	m		309		管路材設置（直管） 作業区分=埋設部； 設置区分=単管設置； 管路材設置（曲管） 作業区分=埋設部； 設置区分=単管設置； ﾀﾞｸﾄｽﾘｰﾌﾞ（材料費） ECVP管 φ100用 管路受台（スペーサ）（材料費）	m m 個 個	237 72 70 204

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
埋設管路	通信用PV管 径 75ｍｍ					管路材設置（直管）	m	2,545
						作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；		
						管路材設置（曲管）	m	485
						作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；		
						ﾀﾞｸﾄｽﾘｰﾌﾞ（材料費） 通信用PV管 φ75用	個	113
						分岐管（材料費） φ150×75	個	66
		m		3,030		管路受台（スペーサ）（材料費）	個	3,332
埋設管路	通信用PV管 径 50ｍｍ					管路材設置（直管）	m	1,361
						作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；		
						管路材設置（曲管）	m	391
						作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；		
						ﾀﾞｸﾄｽﾘｰﾌﾞ（材料費） 通信用PV管 φ50用	個	59
						分岐管（材料費） φ150×50	個	61
		m		1,752		管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1,505
埋設管路	ﾌﾘｰｱｸｾｽ管VP 径 150ｍｍ					管路材設置（直管）	m	1,688
						作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；		
						管路材設置（曲管）	m	290
						作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；		
						やりとり継手（材料費） ﾌﾘｰｱｸｾｽ管 φ150用	本	39
						ﾀﾞｸﾄｽﾘｰﾌﾞ（材料費） ﾌﾘｰｱｸｾｽ管 φ150用	個	78
		m		1,978		管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1,313

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	C・C・BOX工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
埋設管路	ﾎﾞﾃﾞｨ管 径 200mm　さや管(φ50-4条, φ30-7条)					管路材設置（直管） 作業区分=埋設部；設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ200㎜)設置(さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(4条(φ50)+7条(φ30))；	m	625
						管路材設置（曲管） 作業区分=埋設部；設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ200㎜)設置(さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(4条(φ50)+7条(φ30))；	m	130
						ﾎﾞﾃﾞｨ管（材料費） φ200 ｽﾗｲﾄﾞ管 全長1m	本	14
						ﾎﾞﾃﾞｨ管（材料費） φ200 ﾛｰﾀｽ管 起点側	本	14
						ﾎﾞﾃﾞｨ管（材料費） φ200 ﾛｰﾀｽ管 終点側	本	14
						ﾀﾞｸﾄｽﾘｰﾌﾞ（材料費） φ200用	個	28
						さや管（材料費） SU直管 φ30 有効長5m	m	2,010
						さや管（材料費） SU直管 φ50 有効長5m	m	2,368
						さや管（材料費） SU短管 φ30 有効長1.1m	本	72
						さや管（材料費） SU短管 φ50 有効長1.1m	本	86
		m		755		管路受台（スペーサ）（材料費）	個	654

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	C・C・BOX工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
埋設管路	ﾎﾞﾃﾞｨ管 径 150mm　さや管(φ50-2条, φ30-3条)					管路材設置（直管） 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ200mm)設置(さや管含む); さや管の条数=標準以外の組合せ(φ50, φ30使用); さや管(φ50)の条数(標準以外の組合せ)(実=2 本; さや管(φ30)の条数(標準以外の組合せ)(実=3 本;	m	958
						管路材設置（曲管） 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ200mm)設置(さや管含む); さや管の条数=標準以外の組合せ(φ50, φ30使用); さや管(φ50)の条数(標準以外の組合せ)(実=2 本; さや管(φ30)の条数(標準以外の組合せ)(実=3 本;	m	159
						ﾎﾞﾃﾞｨ管（材料費） φ150 ｽﾗｲﾄﾞ管 全長1m	本	25
						ﾎﾞﾃﾞｨ管（材料費） φ150 ﾛｰﾀｽ管 起点側	本	25
						ﾎﾞﾃﾞｨ管（材料費） φ150 ﾛｰﾀｽ管 終点側	本	25
						ﾀﾞｸﾄｽﾘｰﾌﾞ（材料費） φ150用	本	50
						さや管（材料費） SU直管 φ30 有効長5m	m	3,032
						さや管（材料費） SU直管 φ50 有効長5m	m	2,289
						さや管（材料費） SU短管 φ30 有効長1.1m	本	128
						さや管（材料費） SU短管 φ50 有効長1.1m	本	100
		m		1,117		管路受台（スペーサ）（材料費）	個	986
埋設表示ｼｰﾄ	W=400mm 2倍					＜ 1 m当り＞ 埋設表示シート（材料費）	m	1
		m		2,788				
埋設表示ｼｰﾄ	W=600mm 2倍					＜ 1 m当り＞ 埋設表示シート（材料費）	m	1
		m		1,359				

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
防護板	SS400 W500×L500×t16	枚		33		＜　1　枚当り＞ 蓋版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無=有り; 蓋版の種類=蓋版(各種); 規格・仕様区分=40kg/枚以下; 時間的制約の有無=無し; 施工箇所における補正=無し; 防護板 SS400 W500×L500×t16	枚 枚	1 1
防護板	SS400 W700×L500×t16	枚		51		＜　1　枚当り＞ 蓋版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無=有り; 蓋版の種類=蓋版(各種); 規格・仕様区分=40を超え170kg/枚以下; 時間的制約の有無=無し; 施工箇所における補正=無し; 防護板 SS400 W700×L500×t16	枚 枚	1 1
防護板	SS400 W900×L500×t16	枚		210		＜　1　枚当り＞ 蓋版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無=有り; 蓋版の種類=蓋版(各種); 規格・仕様区分=40を超え170kg/枚以下; 時間的制約の有無=無し; 施工箇所における補正=無し; 防護板 SS400 W900×L500×t16	枚 枚	1 1
防護板	SS400 W1100×L500×t16	枚		21		＜　1　枚当り＞ 蓋版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無=有り; 蓋版の種類=蓋版(各種); 規格・仕様区分=40を超え170kg/枚以下; 時間的制約の有無=無し; 施工箇所における補正=無し; 防護板 SS400 W1100×L500×t16	枚 枚	1 1
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ工(特殊部) 【夜間】		式		1				

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	Ｉ型 1200×1500×3300 歩道部					＜　10　個当り＞		
						基礎砕石	ｍ２	59
						砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;		
						モルタル練	ｍ３	1
						ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用;		
						プレキャストボックスブロック設置	個	10
						ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準;		
		個		12		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ Ｉ型 1200×1500×3300 歩道部	組	10
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	Ｉ型 1200×1500×3300 歩道部抱込型					＜　10　個当り＞		
						基礎砕石	ｍ２	59
						砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;		
						モルタル練	ｍ３	1
						ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用;		
						プレキャストボックスブロック設置	個	10
						ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準;		
						プレキャストボックスブロック設置	個	10
						ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準;		
		個		4		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ Ｉ型 1200×1500×3300 歩道部抱込型	組	10

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	Ｉ型 1200×1500×3300 車道部配置型					＜　10　個当り＞		
						基礎砕石	ｍ２	59
						砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;		
						モルタル練	ｍ３	1
						ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用;		
						プレキャストボックスブロック設置	個	10
						ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準;		
		個		2		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ Ｉ型 W1200×H1500×L3300 車道配置型	組	10
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	Ｉ型 1200×1500×3300 街渠型					＜　10　個当り＞		
						基礎砕石	ｍ２	59
						砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;		
						モルタル練	ｍ３	1
						ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用;		
						プレキャストボックスブロック設置	個	10
						ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準;		
		個		3		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ Ｉ型 1200×1500×3300　街渠型	組	10

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	C・C・BOX工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	Ⅰ型 1200×1500×3300 歩道部抱込型 道路横断部	個		1		＜　10　個当り＞ 基礎砕石 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準; プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準; ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ Ⅰ型 1200×1500×3300 歩道部抱込型 道路横断部	ｍ２ ｍ３ 個 個 組	59 1 10 10 10

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	Ｉ型 1200×1500 ×3300 歩道部抱 込型 ｻｲﾄﾞﾎﾞｯｸｽ付					＜　　10　　個当り＞		
						基礎砕石 　砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類= 　再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	59
						基礎砕石 　砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 砕石の種類= 　再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	11
						モルタル練 　ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３	1.2
						プレキャストボックスブロック設置 　ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃 　料補正係数=標準;	個	10
						プレキャストボックスブロック設置 　ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; 　ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準;	個	10
						プレキャストボックスブロック設置 　ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; 　ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準;	個	10
						ｻｲﾄﾞﾌﾞﾛｯｸ 1000×600×650	組	10
		個		1		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ Ｉ型 1200×1500×3300 歩道部抱込型 ｻｲﾄﾞﾎﾞｯｸｽ付	組	10

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務　（ 当　初 ）	工種区分	C・C・BOX工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	Ⅰ型 1200×1500×3300 歩道部 ｻｲﾄﾞﾎﾞｯｸｽ付					＜　10　個当り＞		
						基礎砕石 　砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;	m２	59
						基礎砕石 　砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;	m２	12
						モルタル練 　ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用;	m３	1.2
						プレキャストボックスブロック設置 　ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準;	個	10
						プレキャストボックスブロック設置 　ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準;	個	10
						ｻｲﾄﾞﾌﾞﾛｯｸ 1000×600×650	組	10
		個		2		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ Ⅰ型 1200×1500×3300 歩道部 ｻｲﾄﾞﾎﾞｯｸｽ付	組	10

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	Ｉ型 1200×1500×3300 街渠型 ｻｲﾄﾞﾎﾞｯｸｽ付	個		1		＜　　10　　個当り＞ 基礎砕石 　砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 　砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; モルタル練 　ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 　ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準; プレキャストボックスブロック設置 　ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準; ｻｲﾄﾞﾌﾞﾛｯｸ 1000×600×650 ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ Ｉ型 1200×1500×3300 街渠型 ｻｲﾄﾞﾎﾞｯｸｽ付	 ｍ２ ｍ２ ｍ３ 個 個 組 組	 59 12 1.2 10 10 10 10
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	Ｉ型 1200×1500×3300 街渠型 道路横断部	個		1		＜　　10　　個当り＞ 基礎砕石 　砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; モルタル練 　ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 　ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準; ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ Ｉ型 1200×1500×3300 街渠型 道路横断部	 ｍ２ ｍ３ 個 組	 59 1 10 10

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	Ⅱ型 U型 900×1200×2200 直上1基	個		5		＜　10　個当り＞ 基礎砕石 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準; ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ Ⅱ型 U型 900×1200×2200	ｍ２ ｍ３ 個 組	34 0.5 10 10
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	Ⅱ型 1000×1500×3000 直上1基 街渠型	個		5		＜　10　個当り＞ 基礎砕石 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準; 機器用ﾌﾞﾛｯｸ W350×L1200×H100 ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ Ⅱ型 1000×1500×3000 直上1基 街渠型	ｍ２ ｍ３ 個 個 組	47 0.8 10 10 10
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	Ⅱ型 U型 900×1200×4200 直上2基	個		1		＜　10　個当り＞ 基礎砕石 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準; ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ Ⅱ型 U型 900×1200×4200 直上2基	ｍ２ ｍ３ 個 組	63 1 10 10

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	Ⅱ型 1000×1500×5000 直上2基 街渠型					基礎砕石 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	16
						モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３	0.3
						プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準;	個	4
						機器用ﾌﾞﾛｯｸ W350×L1200×H150	個	2
						機器用ﾌﾞﾛｯｸ W350×L1200×H200	個	2
		個		2		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ Ⅱ型 1000×1500×5000 直上2基 街渠型	組	2
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	Ⅱ型 1200×1500×6700 直上3基 街渠型					＜　10　個当り＞ 基礎砕石 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	119
						モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３	2
						プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準;	個	40
						機器用ﾌﾞﾛｯｸ W350×L1200×H100	個	30
		個		1		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ Ⅱ型 1200×1500×6700 直上3基 街渠型	組	10

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	通信接続桝 500×1050×2000 歩道部	個		10		基礎砕石 　砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; モルタル練 　ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 　ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準; ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 通信接続桝 500×1050×2000 歩道部	ｍ２ ｍ３ 個 組	20 0.3 10 10
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	通信接続桝Ⅱ型 950×1500×2200 歩道部	個		1		＜　10　個当り＞ 基礎砕石 　砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; モルタル練 　ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 　ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準; ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 通信接続桝Ⅱ型　950×1500×2200 歩道部	ｍ２ ｍ３ 個 組	35 0.6 10 10
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	低圧分岐桝 400×500×1000	個		1		＜　10　個当り＞ 基礎砕石 　砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; モルタル練 　ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 　ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準; ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 低圧分岐桝 400×500×1000	ｍ２ ｍ３ 個 組	9 0.1 10 10

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	低圧分岐桝 400×600×1000					＜　10　個当り＞		
						基礎砕石	ｍ２	9
						砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;		
						モルタル練	ｍ３	0.1
						ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用;		
						プレキャストボックスブロック設置	個	10
						ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準;		
		個		26		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 低圧分岐桝 400×600×1000	組	10
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	低圧分岐桝 400×700×1000					＜　10　個当り＞		
						基礎砕石	ｍ２	9
						砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;		
						モルタル練	ｍ３	0.1
						ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用;		
						プレキャストボックスブロック設置	個	10
						ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準;		
		個		3		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 低圧分岐桝 400×700×1000	組	10

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	C・C・BOX工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ	簡易ﾄﾗﾌ(2連式)400×600×2000					＜　10　個当り＞		
						基礎砕石	m２	16
						砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;		
						モルタル練	m３	0.3
						ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用;		
						型枠	m２	6
						型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=均しｺﾝｸﾘｰﾄ;		
						コンクリート	m３	1.6
						構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 打設工法=人力打設; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=18-8-40(高炉); 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用;		
						プレキャストボックスブロック設置	個	10
						ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準;		
		個		3		ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 簡易ﾄﾗﾌ （2連式） 400×600×2000	組	10
蓋	鋳鉄蓋 φ750 歩道用 （調整ﾘﾝｸﾞH=100含む）					＜　1　組当り＞		
						蓋設置	組	1
						蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下;		
		組		21		蓋（材料費）	組	1
蓋	鋳鉄蓋 φ750 車道用 （調整ﾘﾝｸﾞH=400含む）					＜　1　組当り＞		
						蓋設置	組	1
						蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下;		
		組		2		蓋（材料費）	組	1
蓋	角蓋 500×800 （調整ﾘﾝｸﾞH=100含む）					＜　1　組当り＞		
						蓋設置	組	1
						蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下;		
		組		7		蓋（材料費）	組	1
蓋	角蓋 500×800 （調整ﾘﾝｸﾞH=150含む）					蓋設置	組	1
						蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下;		
		組		1		蓋（材料費）	組	1

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
蓋	角蓋 500×800 （調整ﾘﾝｸﾞH=200含む）	組		1		蓋設置 　蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下; 蓋（材料費）	組 組	1 1
蓋	角蓋 500×800 （調整ﾘﾝｸﾞH=700含む）	組		4		＜　　1　　組当り＞ 蓋設置 　蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下; 蓋（材料費）	 組 組	 1 1
蓋	角蓋 500×2000	組		10		＜　　1　　組当り＞ 蓋設置 　蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下; 蓋（材料費）	 組 組	 1 1
蓋	角蓋 900×2200	組		5		＜　　1　　組当り＞ 蓋設置 　蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下; 蓋（材料費）	 組 組	 1 1
蓋	角蓋 900×4200	組		1		蓋設置 　蓋1組当り質量=800kgを超え2000kg以下; 蓋（材料費）	組 組	1 1
蓋	分岐桝用蓋 400×1000	組		30		＜　　1　　組当り＞ 蓋設置 　蓋1組当り質量=200kg以下; 蓋（材料費）	 組 組	 1 1
蓋	簡易ﾄﾗﾌ用蓋 400×2000	組		3		＜　　1　　組当り＞ 蓋設置 　蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下; 蓋（材料費）	 組 組	 1 1
舗装工		式		1				
切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ工 【夜間】		式		1				

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ	切削厚7cm以下 一層 段差すりつけ無 密粒度As(20T) 改質Ⅱ型 舗装厚 50ｍｍ	m2		18,540		＜　1　m2当り＞ 切削オーバーレイ 平均切削深さ=7cm以下; 即日舗設の層数=一層; すりつけの区分=無; 舗装厚(一層目)(実数入力)=50 mm; ｱｽﾌｧﾙﾄ材料(一層目)=各種; 締固め後密度(一層目)(実数入力)=2.35 t/m3; 瀝青材料種類(一層目)=ﾀｯｸｺｰﾄ;	ｍ２	1
殻運搬(路面切削)	ｱｽﾌｧﾙﾄ切削屑	m3		890		＜　1　m3当り＞ 殻運搬（路面切削） DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=8.5km以下; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３	1
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ切削屑	m3		890		＜　1　m3当り＞ 処分費（ｔ）	ｔ	2.35
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 ［歩道部］ 【夜間】		式		1				
表層(歩道部)	再生細粒度As(13) 舗装厚 40ｍｍ	m2		5,770		＜　1　m2当り＞ 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=各種(2.10以上2.20t/m3未満); 瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 ［第1種乗入部］ 【夜間】		式		1				

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
基層(歩道部)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 100ｍｍ	m2		65		＜　　1　　m2当り＞ 基層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.10以上2.20t/m3未満)；瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3；費用の内訳=全ての費用； 基層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.10以上2.20t/m3未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２ ｍ２	1 1
表層(歩道部)	再生細粒度As(13) 舗装厚 50ｍｍ	m2		65		＜　　1　　m2当り＞ 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.10以上2.20t/m3未満)；瀝青材料種類=ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 ［第2種乗入部］ 【夜間】		式		1				
基層(歩道部)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 50ｍｍ	m2		149		＜　　1　　m2当り＞ 基層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.10以上2.20t/m3未満)；瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
表層(歩道部)	再生細粒度As(13) 舗装厚 50ｍｍ	m2		149		＜　　1　　m2当り＞ 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.10以上2.20t/m3未満)；瀝青材料種類=ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 ［第3種乗入部］ 【夜間】		式		1				
表層(歩道部)	再生細粒度As(13) 舗装厚 50ｍｍ	m2		498		＜　　1　　m2当り＞ 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.10以上2.20t/m3未満)；瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
排水構造物工		式		1				
側溝工 【夜間】		式		1				

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
L型側溝 （撤去・再設置）	LS3-M-h250-T250	m		204		＜　10　m当り＞ 【撤去】 歩車道境界ブロック撤去 再利用区分=再利用; 【設置】 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; 型枠 型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=均しｺﾝｸﾘｰﾄ; コンクリート 構造物種別=小型構造物; 打設工法=人力打設; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=18-8-40(高炉); 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 歩車道境界ブロック 作業区分=再利用設置; ﾌﾞﾛｯｸ規格=C種(180/210×300×600); 基礎砕石規格=無し; 均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=無し;	 m m２ m２ m３ m	 10 8 4.2 1.6 10
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝 （撤去・再設置）	US2-B400-H500	m		91		＜　1　m当り＞ U型側溝 作業区分=再利用撤去･据付け; L=1000mm･L=4000mmの使用の有無=無し; 夜間作業の有無=有り; U型側溝の種類=道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 1種 JIS A 5372; U型側溝の規格=400B 400×500×2000; 時間的制約の有無=無し; 施工箇所における補正=無し; 基礎砕石施工の有無=有り; 基礎砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 基礎砕石設計数量(実数入力)=0.6 m3/10m;	 m	 1

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	C・C・BOX工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝 (撤去・再設置)	US2-B500-H500	m		5		＜　1　m当り＞ U型側溝 作業区分=再利用撤去･据付け; L=1000mm･L=4000mmの使用の有無=無し; 夜間作業の有無=有り; U型側溝の種類=道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 1種 JIS A 5372; U型側溝の規格=500A 500×500×2000; 時間的制約の有無=無し; 施工箇所における補正=無し; 基礎砕石施工の有無=有り; 基礎砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40～0; 基礎砕石設計数量(実数入力)=0.7 m3/10m;	m	1
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝 (撤去・再設置)	US2-B500-H600	m		23		＜　1　m当り＞ U型側溝 作業区分=再利用撤去･据付け; L=1000mm･L=4000mmの使用の有無=無し; 夜間作業の有無=有り; U型側溝の種類=道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 1種 JIS A 5372; U型側溝の規格=500B 500×600×2000; 時間的制約の有無=無し; 施工箇所における補正=無し; 基礎砕石施工の有無=有り; 基礎砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40～0; 基礎砕石設計数量(実数入力)=0.7 m3/10m;	m	1
側溝蓋 (撤去・再設置)	US2-B400 ｺﾝｸﾘｰﾄ 蓋	枚		183		＜　1　枚当り＞ 蓋版 作業区分=再利用撤去･据付け; 夜間作業の有無=有り; 蓋版の種類=道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 1種 JIS A 5372; 蓋版の規格=400 51.2×11×50; 時間的制約の有無=無し; 施工箇所における補正=無し;	枚	1
側溝蓋 (撤去・再設置)	US2-B500 ｺﾝｸﾘｰﾄ 蓋	枚		56		＜　1　枚当り＞ 蓋版 作業区分=再利用撤去･据付け; 夜間作業の有無=有り; 蓋版の種類=道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 1種 JIS A 5372; 蓋版の規格=500 62.2×12.5×50; 時間的制約の有無=無し; 施工箇所における補正=無し;	枚	1

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
管渠工 【夜間】		式		1				
暗渠排水管 (撤去・再設置)	硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管 VP φ150	m		50		＜　1　m当り＞ 暗渠排水管 作業区分=据付･撤去; 管種別=直管; 呼び径=50～150mm; 費用の内訳=全ての費用;	m	1
集水桝･ﾏﾝﾎｰﾙ工 【夜間】		式		1				
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝 (撤去・再設置)	RHM ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-25)含む	箇所		1		プレキャスト集水桝 作業区分=据付･撤去; 製品質量(kg/基)=200kgを超え400kg以下; 基礎砕石の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	基	1
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝 (撤去・再設置)	街渠桝 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-2)含む	箇所		37		＜　1　箇所当り＞ プレキャスト集水桝 作業区分=据付･撤去; 製品質量(kg/基)=80kgを超え200kg以下; 基礎砕石の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	基	1
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝 (撤去・再設置)	SM-B500-L500-H700	箇所		1		プレキャスト集水桝 作業区分=据付･撤去; 製品質量(kg/基)=800kgを超え1200kg以下; 基礎砕石の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	基	1
縁石工		式		1				
縁石工 【夜間】		式		1				

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	C・C・BOX工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ (撤去・再設置)	B種 両面R L=600m m	m		253		＜　1　m当り＞ 歩車道境界ブロック撤去 再利用区分=再利用; 歩車道境界ブロック 作業区分=再利用設置; ﾌﾞﾛｯｸ規格=各種(600mm以下、50kg以上100kg未満); 基礎砕石規格=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40; 均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=無し;	 m m	 1 1
地先境界ﾌﾞﾛｯｸ (撤去・再設置)	A種(120×120×600)	m		5		＜　1　m当り＞ 地先境界ブロック撤去 再利用区分=再利用; 地先境界ブロック 作業区分=再利用設置; ﾌﾞﾛｯｸ規格=A種(120×120×600); 基礎砕石規格=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40; 均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=無し;	 m m	 1 1
中央分離帯ﾌﾞﾛｯｸ (撤去・再設置)	B種 片面R L=600m m	m		2		＜　1　m当り＞ 歩車道境界ブロック撤去 再利用区分=再利用; 歩車道境界ブロック 作業区分=再利用設置; ﾌﾞﾛｯｸ規格=B種(180/205×250×600); 基礎砕石規格=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40; 均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=無し;	 m m	 1 1
防護柵工		式		1				
路側防護柵工 【夜間】		式		1				

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ （撤去・再設置）	Gp-Cp-3E4	m		9		＜　　1　　m当り＞ 防護柵撤去工（ガードパイプ撤去工） 施工区分=土中建込；夜間補正=有；時間的制約を受ける場合の補正=無； 防護柵設置工（材料費を除く手間のみ） 施工区分=土中建込；規格仕様=歩車道境界･Gp-Cp-3E4；施工規模=５０ｍ未満；夜間補正=有；時間的制約を受ける場合の補正=無；曲線部補正=無；	m m	1 1
区画線工		式		1				
区画線工 【夜間】		式		1				
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.0mm 排水性舗装無 白色	m		650		＜　　1　　m当り＞ 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=溶融式手動；豪雪補正の有無=無し；規格･仕様区分=実線 15cm；時間的制約の有無=無し；塗布厚=1.0mm；排水性舗装に施工する場合の補正=無し；未供用区間の場合の補正=無し；溶融式塗料規格=含有量15～18%；塗料区分=白；プライマー規格=アスファルト舗装；費用の内訳=全ての費用；	m	1
溶融式区画線	溶融式手動 破線 30cm 厚1.0mm 排水性舗装無 白色	m		90		＜　　1　　m当り＞ 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=溶融式手動；豪雪補正の有無=無し；規格･仕様区分=破線 30cm；時間的制約の有無=無し；塗布厚=1.0mm；排水性舗装に施工する場合の補正=無し；未供用区間の場合の補正=無し；溶融式塗料規格=含有量15～18%；塗料区分=白；プライマー規格=アスファルト舗装；費用の内訳=全ての費用；	m	1

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
溶融式区画線	溶融式手動 ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm 厚1.0mm 排水性舗装無 白色	m		660		＜　1　m当り＞ 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=溶融式手動；豪雪補正の有無=無し；規格･仕様区分=ゼブラ 45cm；時間的制約の有無=無し；塗布厚=1.0mm；排水性舗装に施工する場合の補正=無し；未供用区間の場合の補正=無し；溶融式塗料規格=含有量15～18%；塗料区分=白；プライマー規格=アスファルト舗装；費用の内訳=全ての費用；	m	1
溶融式区画線	溶融式手動 矢印･記号･文字 15cm換算 厚1.0mm 排水性舗装無 白色	m		450		＜　1　m当り＞ 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=溶融式手動；豪雪補正の有無=無し；規格･仕様区分=矢印･記号･文字 15cm換算；時間的制約の有無=無し；塗布厚=1.0mm；排水性舗装に施工する場合の補正=無し；未供用区間の場合の補正=無し；溶融式塗料規格=含有量15～18%；塗料区分=白；プライマー規格=アスファルト舗装；費用の内訳=全ての費用；	m	1
ﾍﾟｲﾝﾄ式区画線	ﾍﾟｲﾝﾄ式 水性型 実線 15cm 加熱 白色	m		1,420		＜　1　m当り＞ 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=ペイント式水性型；豪雪補正の有無=無し；規格･仕様区分=実線15cm；時間的制約の有無=無し；未供用区間の場合の補正=無し；ペイント式塗料規格=加熱；塗料区分=白；費用の内訳=全ての費用；	m	1
ﾍﾟｲﾝﾄ式区画線	ﾍﾟｲﾝﾄ式 水性型 破線 15cm 加熱 白色	m		770		＜　1　m当り＞ 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=ペイント式水性型；豪雪補正の有無=無し；規格･仕様区分=破線15cm；時間的制約の有無=無し；未供用区間の場合の補正=無し；ペイント式塗料規格=加熱；塗料区分=白；費用の内訳=全ての費用；	m	1

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾍﾟｲﾝﾄ式区画線	ﾍﾟｲﾝﾄ式 水性型 実線 15cm 常温 白色	m		1,780		＜　　1　　m当り＞ 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=ペイント式水性型；豪雪補正の有無=無し；規格･仕様区分=実線15cm；時間的制約の有無=無し；未供用区間の場合の補正=無し；ペイント式塗料規格=常温；塗料区分=白；費用の内訳=全ての費用；	m	1
道路付属施設工		式		1				
道路付属物工 【夜間】		式		1				
視線誘導標 （撤去・再設置）	ｺﾝｸﾘｰﾄ建込(穿孔含まない) 片面反射φ100 支柱径φ60.5	本		20		＜　　1　　本当り＞ 道路付属物撤去工（視線誘導標） 施工区分=ｺﾝｸﾘｰﾄ建込；施工規模=10本以上30本未満；夜間作業の補正=有；時間制約を受ける場合の補正=無； 道路付属物設置工(視線誘導標設置) 施工区分=ｺﾝｸﾘｰﾄ建込(穿孔含まない)；材料費区分=手間のみ；反射体の種類=片面；規格･仕様=反射体径φ100以下 支柱径φ60.5；施工規模=10本以上30本未満；夜間作業の補正=有；時間制約を受ける場合の補正=無；	本 本	1 1

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	C・C・BOX工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
車線分離標 （撤去・再設置）	可変式(穿孔式･1本脚)	本		1		道路付属物撤去工（車線分離標） 施工区分=穿孔式(1本脚)； 施工規模=10本未満； 夜間作業の補正=有； 時間制約を受ける場合の補正=無； 道路付属物設置工（車線分離標（ﾗﾊﾞｰﾎﾟｰﾙ）設置） 施工区分=可変式(穿孔式･1本脚)； 材料費区分=手間のみ； 規格･仕様=本体(柱)径φ80 ﾍﾞｰｽ径φ250 高さ650mm； 施工規模=10本未満； 夜間作業の補正=有； 時間制約を受ける場合の補正=無；	本 本	1 1
構造物撤去工		式		1				
構造物取壊し工 【夜間】		式		1				
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物	m3		33		＜　1　m3当り＞ 構造物とりこわし 構造物区分=無筋構造物； 工法区分=機械施工； 時間的制約の有無=無し； 夜間作業の有無=有り； 低騒音･低振動対策=不要；	ｍ３	1
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 15ｃｍ以下	m2		6,480		＜　1　m2当り＞ 舗装版破砕 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版； 障害等の有無=無し； 騒音振動対策=不要； 舗装版厚=15cm以下； 積込作業の有無=有り； 費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
運搬処理工 【夜間】		式		1				

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		33		＜　1　m3当り＞ 殻運搬 殻発生作業=ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし; 積込工法区分=機械積込; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有無)=10.9km以下; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３	1
殻運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻(歩道部)	m3		259		＜　1　m3当り＞ 殻運搬 殻発生作業=舗装版破砕; 積込工法区分=機械積込(騒音対策不要､舗装版厚15cm以下); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=10.5km以下; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３	1
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		33		＜　1　m3当り＞ 処分費（ｔ）	ｔ	2.35
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻(歩道部)	m3		259		＜　1　m3当り＞ 処分費（ｔ）	ｔ	2.15
直接工事費		式		1				
共通仮設費		式		1				
共通仮設費		式		1				
運搬費		式		1				

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
建設機械運搬費		台		2		＜　　1　　台当り＞ 貨物自動車による運搬（１車１回） 運搬区分=路面切削機(ﾎｲｰﾙ式･廃材積込装置付) 2.0 m; 片道運搬距離(実数入力)=3.6 km; その他の諸料金の有無=無; 運搬中の賃料(損料)の有無=無;	台	1
仮設材運搬費		t		12.2		＜　　1　　t当り＞ 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 発注機関区分=北海道･東北･北陸･中国･四国･九州; 片道運搬距離(実数入力)=3.6 km; 製品長区分=12m 以内; 運搬割増率=各種(実数入力); 運搬割増率(実数入力)=0 無; その他の諸料金の有無=無; 仮設材等の積込み, 取卸し費 作業区分=積込み,取卸し(往復分);	t t	2 1
技術管理費		式		1				
道路工事施設帳票作成費		式		1		道路工事施設帳票作成費	式	1
道路工事完成図作成費		式		1		道路工事完成図作成費	式	1
現場環境改善費（率計上）		式		1		市街地補正=市街地		
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（ＤＩＤ補正）（１）－１; 除雪工補正=補正無; ICT施工補正=しない; 週休２日の補正=週休２日（閉所）完全週休２日（土日）		
純工事費		式		1				

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（ＤＩＤ補正）（１）－１；緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しない；ICT施工補正=しない；週休２日の補正=週休２日（閉所）完全週休２日（土日）		
工事原価		式		1				
一般管理費等		式		1				
工事価格		式		1				
消費税相当額		式		1				
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡　例　管理費区分1　共通仮設費のみ非対象　　管理費区分2　工場管理費・一般管理費の対象管理費区分5　一般管理費等対象　　管理費区分7　間接労務費対象労務費
管理費区分9　率計算の非対象　　管理費区分T　処分費等の対象にする

○：該当する管理費区分が含まれている

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 整備工事業務 （ 当　初 ）	事業区分	共同溝･電線共同溝
		工事区分	電線共同溝

細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	176	○				
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	128	○				
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	890	○				
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	33	○				
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	259	○				
道路工事完成図作成費		式	1					○

見　積　参　考　資　料

国道49号　富田地区電線共同溝PFI事業　調整マネジメント業務（設計段階）

この「見積参考資料」は、入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書に定める設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、業務の目的や条件を充分に考慮し、業務を完了するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期限は、この事業の入札日までとする。

国土交通省　東北地方整備局
郡山国道事務所　管理課

1，本業務の「調整マネジメント（設計段階）」は、標準積算基準の歩掛が設定されていないため、競争参加　資格確認申請者に業務参考見積を依頼し、その平均的な見積を参考に歩掛を設定します。

見　積　参　考　資　料

国道49号　富田地区電線共同溝PFI事業　調整マネジメント業務（工事段階）

この「見積参考資料」は、入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書に定める設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、業務の目的や条件を充分に考慮し、業務を完了するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期限は、この事業の入札日までとする。

国土交通省　東北地方整備局
郡山国道事務所　管理課

1，本業務の「調整マネジメント（工事段階）」は、標準積算基準の歩掛が設定されていないため、競争参加　資格確認申請者に業務参考見積を依頼し、その平均的な見積を参考に歩掛を設定します。

見　積　参　考　資　料

国道49号　富田地区電線共同溝PFI事業　工事監理業務

この「見積参考資料」は、入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書に定める設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、業務の目的や条件を充分に考慮し、業務の成果を完了するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期限は、この事業の入札日までとする。

国土交通省　東北地方整備局
郡山国道事務所　管理課

1．業務計画

業務計画は以下を見込んでいます。

対象業務数：１業務

１業務あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
業務計画	人	1.4	技師（A）	

2．工事管理

工事管理は以下を見込んでいます。

対象工事数：６工事

１工事あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
設計管理	人	0.4	技師（A）	

3．監理業務

監理業務は以下を見込んでいます。

業務期間：72ヶ月

１ヶ月あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
指揮・監督	人	0.55	技師（A）	
担当技術者	式	1	技師（C）	事業監理、調査・設計

担当技術者１ヶ月あたりの作業（１式）は、「19.5人＋超勤（30h）」を見込んでいます。

なお、超過時間あたり標準単価は、設計業務等積算基準に準じ、深夜以外の時間帯としています。

4．打合せ

打合せは以下を見込んでいます。

業務期間：72ヶ月

１ヶ月あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
打合せ	人	1.2	技師（A）	移動時間を含む。 2回／月を標準とする。

５．旅費交通費

本業務において打合せ、現地確認、段階確認、工事検査等への臨場にかかる旅費交通費として、直接人件費の 4.15%として計上しています。

なお、契約変更によって直接人件費の増減があった場合の旅費交通費においては変更後の直接人件費に対し率を乗じた額により計上します。

６．事務用品費

事務用品費は以下を見込んでいます。

業務期間：72 ヶ月

１ヶ月あたり

事務用品	単位	数量	単価（円）	備考
机・椅子	台	1	６４６	

７．電算機使用経費

本業務における電算機使用経費として、直接人件費の 2.7%を計上しています。

なお、契約変更によって直接人件費の増減があった場合の旅費交通費においては変更後の直接人件費に対し率を乗じた額により計上します。

８．その他原価

その他原価は、次式により算定した額の範囲内とする。

（その他原価）＝（直接人件費）×α／（１－α）

ただし、α は原価（直接経費の積上計上分を除く）に占めるその他原価の割合であり、２５％ とする。

９．一般管理費等

一般管理費等は、次式により算定した額の範囲内とする。

（一般管理費等）＝（業務原価）×β／（１－β）

ただし、βは業務価格に占める一般管理費等の割合であり、３５％とする。

見　積　参　考　資　料

国道49号　富田地区電線共同溝PFI事業　点検業務（日常点検）

この「見積参考資料」は、対象工事の現場条件等を考慮し標準的な施工内容等を参考に示した資料であり、契約書に定める設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、施工方法、地質条件等を十分に考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期限は、この事業の入札日までとする。

国土交通省　東北地方整備局
郡山国道事務所　管理課

見積参考資料（積算条件）

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業　点検業務（日常点検）　（　当　初　）	主たる工種	道路維持工事

間接費名称	積算条件	
	補正項目	条件
共通仮設費（率計上）	施工地域補正 除雪工事補正	市街地（ＤＩＤ補正）（１）－１ 補正無
現場管理費	施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正	市街地（ＤＩＤ補正）（１）－１ 補正しない 補正しない 補正しない 補正しない
一般管理費等	財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正	補正しない ３５％を超えるもの・補正しない 発注者が金銭的保証を必要とする場合
その他	ＩＣＴ施工補正 週休２日の補正 被災地補正	補正しない 補正しない 補正する

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業　点検業務（日常点検）　（　当　初　）	工種区分	道路維持工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
道路維持		式		1				
巡視･巡回工		式		1				
道路巡回工		式		1				
日常点検		回		16		＜　　1　　回当り＞ 土木一般世話役 ライトバン運転費［ L=6.2km/日 ］	 人 日	 0.7 1
直接工事費		式		1				
共通仮設費		式		1				
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（ＤＩＤ補正）（１）－１；除雪工補正=補正無；ICT施工補正=しない；週休２日の補正=しない		
純工事費		式		1				
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（ＤＩＤ補正）（１）－１；緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しない；ICT施工補正=しない；週休２日の補正=しない		
工事原価		式		1				

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業　点検業務（日常点検）　（　当　初　）	工種区分	道路維持工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
一般管理費等		式		1				
工事価格		式		1				
消費税相当額		式		1				
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

見積参考資料
国道 49 号　富田地区電線共同溝 PFI 事業
点検業務（日常点検）

１．通常巡回

通常巡回は以下を見込んでいます。

なお、基地を郡山市役所とし現地までのライトバンでの往復を見込んでいます。

巡回回数：1 回／年

１回あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
通常巡回	人	0.7	土木一般世話役	維持管理期間：16 年
ライトバン運転費	日	1	―	1 日当たりの運転距離 L=6.2km（一般道）

見　積　参　考　資　料

国道49号　富田地区電線共同溝PFI事業　点検業務（特殊部点検）

この「見積参考資料」は、対象工事の現場条件等を考慮し標準的な施工内容等を参考に示した資料であり、契約書に定める設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、施工方法、地質条件等を十分に考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期限は、この事業の入札日までとする。

国土交通省　東北地方整備局
郡山国道事務所　管理課

見積参考資料

業務名	国道49号　富田地区電線共同溝PFI事業　点検業務（特殊部点検）　（　当　初　）	事業区分	電気通信施設点検
		業務区分	点検業務

費目・工種　・種別　・細別　・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
点検業務		式		1				
直接費		式		1				
労務費		式		1				
個別点検（1回/5年）		回		3		＜　　1　　回当り＞ （個別）低圧設備 点検周期=12ヶ月；旅費交通費区分=積上（日々通勤）；乗算補正=なし；マンホール(ハンドホール)=あり；	ヶ所	88
直接経費		式		1				
旅費交通費		式		1		点検技術者（日額） 点検技術員（日額） ライトバン運転費［ L=6.2km/日 ］	人 人 日	15 15 15
安全費		式		1		安全費（率分） 交通誘導警備員Ａ	式 人	1 15
技術管理費		式		1				
技術管理費		式		1		技術管理費（率分）	式	1
諸経費		式		1				

見積参考資料

業務名	国道49号　富田地区電線共同溝PFI事業　点検業務（特殊部点検）　（　当　初　）	事業区分	電気通信施設点検
		業務区分	点検業務

費目・工種　・種別　・細別　・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
諸経費		式		1				
業務価格		式		1				
消費税相当額		式		1				
業務費計		式		1				

見積参考資料
国道４９号　富田地区電線共同溝ＰＦＩ事業
点検業務（特殊部点検）

１．旅費交通費

基地を郡山市役所とし現地までのライトバンでの往復を見込んでいます。

点検回数：３回

１回あたり

作業区分	単位	数量	備考
点検技術者（日額）	人	5	
点検技術員（日額）	人	5	
ライトバン運転費	日	5	1日当たりの運転距離 L=6.2km（一般道）

見　積　参　考　資　料

国道49号　富田地区電線共同溝PFI事業　台帳作成業務

この「見積参考資料」は、入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書に定める設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、業務の目的や条件を充分に考慮し、業務を完了するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期限は、この事業の入札日までとする。

国土交通省　東北地方整備局
郡山国道事務所　管理課

１．電線共同溝台帳整備

本業務の「電線共同溝台帳整備」は、標準積算基準の歩掛が設定されていないため、競争参加資格確認申請者に業務参考見積を依頼し、その平均的な見積を参考に歩掛を設定します。

なお、全体位置図、平面図、縦断図、横断図、占用管理帳票は、現地調査を行わずに作成できるものとし、特殊部及び分岐桝帳票作成は、現地調査（桝内部の確認、写真撮影）を行い、入線状況を確認した上で、帳票を作成するもの考えています。

見　積　参　考　資　料

国道49号　富田地区電線共同溝PFI事業　調整マネジメント業務（維持管理段階）

この「見積参考資料」は、入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書に定める設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、業務の目的や条件を充分に考慮し、業務の完了するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期限は、この事業の入札日までとする。

国土交通省　東北地方整備局
郡山国道事務所　管理課

1，本業務の「調整マネジメント（維持管理段階）」は、標準積算基準の歩掛が設定されていないため、競争参加　資格確認申請者に業務参考見積を依頼し、その平均的な見積を参考に歩掛を　設定します。

見　積　参　考　資　料

国道49号　富田地区電線共同溝PFI事業　その他施設費（割賦手数料）

この「見積参考資料」は、入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書に定める設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、事業の目的や条件を充分に考慮し、事業を完了するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期限は、この事業の入札日までとする。

国土交通省　東北地方整備局
郡山国道事務所　管理課

１．その他施設費（割賦手数料）

本事業における基準金利の料率は、国債金利8年物を基準金利とし、利ざや（スプレッド）0.8%を足したものを想定して計上している。